

仙台市議會活動報告

くろまつ

発行人
仙台市議会議員(若林区)
相沢 和紀
(社民党仙台市議団所属)

[事務所]
仙台市若林区上飯田2丁目3-63
TEL(兼FAX)022-781-0650

[HPアドレス]
<http://aizawa-k-sigi.net/>

復興＆地域コミュニティの再生に全力

8月の仙台市議会議員選挙において多くの皆様からご支援そしてご支持を頂き、3期目の当選を果たすことが出来ました。改めて感謝申し上げます。そして皆さまの熱い思いの負託にこたえるべく任期の4年間、107万仙台市民の生活の向上と都市の発展のため全力で頑張ることをお誓いいたします。

既に、議会での新たな任務を決定する臨時会（9/8,9）、そして第3回定例会（10/18～23）が開催されました。私は都市整備建設委員会をはじめとする任務となりました。復興を更に加速させるため、被災地域のコミュニティ再生を含め地域の社会インフラ整備が重要と考えます。選挙時に訴えた名取川への新たな橋梁建設や若林区内の道路整備などのハード整備、更に復興公営住宅や集団移転団地に加え、残る従来の町内会等のコミュニティ再生を着実に前進させてまいります。



これからの主な日程

11月19日 (木)

- ・仙台市中央卸売市場運営協議会
11月20日（金）

• 都市整備建設

- 11月23日（月）

11月26日(木)

- ・第4回定例会 議案説明

十一月三十日（月）

- # 地域活性化特別委員会 12月2日（水）

・「仙台の夕べ」

- ## 12月4日（金）

 - ・第4回定例会（～21日）

12月5日 (土)

- ・地下鉄東西線開業記念式典
12月6日（日）
・地下鉄東西線開業＆バス路線、ダイヤ改正

六郷出張所の移転改築工事着工へ

第3回定例会では、2014年度の各会計決算の他、2015年度一般会計の補正予算や条例改正案など34件の議案審査が行われました。補正予算では被災者向け市営住宅の改修費や若林と岩切保育所の民営化に伴う補助金の他、9月10,11日の関東・東北豪雨による災害復旧費なども承認しました。

また、当初予算に計上され、工事発注された若林消防署六郷出張所の庁舎移転改築や岩切小学校の増築、造成宅地滑動崩落の緊急対策などの工事請負契約の締結に関する件も承認しました。

ミズのささやき

◆ TPP交渉が大筋で決着した。主食のコメは米国の圧力の前に輸入枠が拡大された。量の過多が問題ではない。食用米の輸入受け入れは販売価格に大きく影響し必然的に生産者の所得増は望めなくなる。◆ 料自給率は38%と下がり続けている中、自民党政は「強い農業」を標榜し、「果実や肉は人気が高く、輸出できる」と主張する。要は世界の富裕層に高価な生産物を提供し、日本国民には安全性等に問題があつても“安い”輸入米を喰え！と言わんばかりである。◆ 臨時国会開会要求に對し、首相の外遊日程等を理由に開かれていない。TPPの承認は日本の将来を左右する重大な問題である。先の審議では、戦争法案米国そのための構わぬ対応に終始したのに。誰のための国会なのでしょうか？

第3回定例会 決算等審査特別委員会

東
京

相沢議員は、第3回定例会の決算等審査特別委員会において下水道企業会計、一般会計の土木費および教育費に関わって質疑を行いました。

2014年度は復興事業が本格化した年度であり、多くの事業が実施されました。また、近年集中豪雨が頻発する中にあって地震以外への“危機対応”が問われました。9月の豪雨によって市民生活が脅かされた事態なども取り上げ、この間の整備のあり方や早急な対応を求めました。

(質疑の要点のみを整理して記載しました。)



決算委員会

下水管への雨水の流入対策を追求

相沢 先の豪雨に伴うトラブルとして数件の連絡があった。いずれも「汚水の流れが悪くトイレから逆流してくる。」また、「自宅前のマンホールから汚水が溢れ出ている。」相談を受けた地域はいずれも「分流」処理区域である。古いタイプのマンホール蓋からの流入や古い小規模開発団地が公共下水に移行する際に誤接続されことなどが考えられる。その配管などの検査がしっかりと行われていない場合なども考えられる。下水道部局として、雨水大量流入の原因をどのように分析しているのか伺う。

当局 雨水が下水管に流入するケースとして、指摘のように配管の破損やマンホールの蓋から、さらに誤接続がある。大量の流れ込みによってマンホール蓋の浮き上がりや逆流が発生したと考えている。今後、問題となった地域を中心に調査を行い、早急に対応していかたい。

相沢 農業集落排水処理施設についても伺う。被災した各クリーンセンター（浄化処理施設）と



下水マンホールから溢れ出る汚水（若林区六郷地区）

沈下や破損した管路の復旧を求めてきた。これに対し「国からの復旧費を受け、早急に復旧し、被災者の住宅再建・生活再建につなげたい。」との答弁があったが、復旧が必ずしも完了していないように見える。第1点は中野地区の処理です。藤塚クリーンセンターは全壊し、生活を再開した約10世帯からの汚水は定期的にバキュームカーによって汲み取り処理しているが、先の豪雨で溢れ出した。将来的には井土のクリーンセンターに接続し処理すると伺っているが、今後の対応を伺う。第2点は東部地区の処理施設は、既に復旧を終了し、稼働しているが、施設周辺に臭気や処理水の濁りがあるとの苦情を耳にした。特に小在家クリーンセンターは、臭気も処理水も問題がある。浄化施設の稼働状況をどのように把握しているのか伺う。

中野地区については住宅再建の状況なども考慮して対処してきたが、井土のクリーンセンターへの1.2キロの管路を敷設する。16年末まで完了する予定である。各施設の処理水などは毎月検査している。水質的には問題はないが、若干ではあるが色味が出ていることは確認している。臭いも含め、更に管理を徹底していく。

貞山運河の整備など、国・県との連携を問う

相沢 東部治水対策について伺う。東部農地の排水については二郷堀排水機場をはじめとする4箇所の排水機場が完成し、9月の豪雨ではその能力を遺憾なく発揮し排水された。しかし、井土浦川排水樋門が11日の10:00ごろまでオープン（開）の状態となっており、毎秒20トンもの排水能力となった新二郷堀排水機場から排出された雨水は先の水門から井土浦川

地区の復興加速と諸整備を求める

を経て二郷掘へと流れ、約半日も循環していた。この状態を市当局はいつの時点で把握し、対応したのか伺う。また、貞山運河の管理者である宮城県、そして国との連携についてどのような対応されていくのか伺う。

当局 逆流については、9:30頃に東北農政局県より連絡があり、管理者である国土交通省仙台河川工事事務所に連絡し逆流防止の対策を要請するとともに市職員を急行させた。11:40に水門を閉鎖し、逆流が停止したことを確認した。内水対策については国・県・市、そして土地改良区で組織する仙台東部地区内水対策連絡会において各管理者が情報を共有し、しっかりと協議し、連携した対応を行っていく。

相沢 貞山運河は歴史的な建造物でもある。今後、観光資源として活用する動きがあり、建設当時の姿、つまり石垣を中心とした造りで復元されるべきと考えるが、どのような工事仕様となっているのか、また、貞山運河周辺を「海岸公園」として整備活用する本市として、県の復旧計画にどのような意見反映を行ってきたのか伺う。

当局 原形復旧が基本となるが、景観などに配慮して自然石による護岸整備と聞いている。運河の復旧計画にあたっては、学識者などで構成する貞山運河再生復興会議において取りまとめを行ってきており、本市の海岸公園再整備計画などを示し、意見反映を行ってきた。

買い上げ用地の管理徹底を求める

相沢 嵩上げ道路の整備は、「30年度末までには工事を完了したい」としているが、用地の取得は100%完了しているのか、また、未取得の土地がある場合、先の工事完了の時間的制約の中でいつごろに終えるのか伺う。

当局 用地の取得は、全面積45haの内95%が取得済みとなっている。しかし、相続未登記や価格面での折り合いがつかないものがある。28年度末までに終了させたい。

相沢 移転促進区域は、多くの家屋が“全壊”した。多くの方が防災集団移転地への移転新築や復興公営住宅等新たな生活がスタートしている。しかし、買い取った宅地や農地は雑草が繁茂し荒れ放題となっている。塩釜亘理線の道路用地や移転促進区域のうち七北田川の北側の蒲生北部地区は既に旧家屋の基礎撤去や草刈が行われ、更に木杭と針金による柵が巡らさ

れしっかりと管理されている。しかし、北田川南側から名取川までの用地については未だに手がつけられず、火災が発生などの危険性がある。今後の対応はどのように考えているのか伺う。

当局 買い上げ用地125ha中、23haが未取得となっている。指摘の用地管理については不法投棄や立ち入り禁止の看板などを設置してきた。11月から除草を行い、建物の基礎の撤去を行うなど年度末までに蒲生北部地区同様に木柵の設置を行う。今後も現地を見ながら除草などを適時行っていく。

自然体験を通じ、仲間との人間形成を

相沢 昨年7月に開館した泉ヶ岳自然ふれあい館の施設利用や申し込みの変更について伺う。昨今、学校における「いじめ問題」や「家庭内暴力」、「幼児や児童の虐待」などは全国的に発生し、社会問題になっている。生徒間、生徒と教師の関係、また、家族やグループなど、お互いに理解しあえる機会を作ることが重要であると考る。日々教室だけの関係ではなく、自然の中で非日常的な取組み・活動、さらに家庭内では見られないお父さん、お母さんの姿や自然に向き合う子どもの姿など、新たな発見、そして絆をつくる場として自然ふれあい館は大きな力を発揮しうる施設である。館の今後の運営、そして、いじめの撲滅に向けた利用の促進などの決意を伺う。

教育局 一般市民の利用が9,100人であり、想定を上回ることができた。また、利用団体による減免の取り扱いなども見直す。“いじめ”的撲滅には生徒自身が自己猶予觀を持つことが重要である。自然の中で児童生徒が主体的な活動を通じ、積極的な関わりを持つことが重要と考える。健全な青少年の育成に取り組んで行きたい。



健全育成等に期待される泉ヶ岳自然ふれあい館

厳選した182項目の要望書を提出

28度の予算などに関する要望書を社民党仙台市議団として、10月23日に提出しました。その主な内容は、①「(仮称)子どもの権利条例」を制定など条例の制定を求めて5項目。②被災者の安全確保と生活をしっかりとサポート出来る組織および人員体制など市政運営に関する要望として4項目。③国民健康保険制度の改正に伴う諸課題および財源問題に関し国庫補助率の引き上げ等、国に万全の対応を求めることなど市民生活に関して5項目。そして具体的な政策・予算要望として、全市対象の7課題91項目と各区に関わるもの77項目です。(若林区は16項目)

若林区の要望には、新たに①人口が急増している荒井地区への小学校の分離新設、②井土浦川や二郷堀等主要な用水路の津波残土物の撤去などを追加しました。

厳しい財政状況の中であり、会派として丸1日の討議を行い要望項目および内容を厳選しました。今後、国の新年度予算の動向を加味しながら予算編成が進められ、新年度予算を審議する第1回定例会の前に回答される日程となっています。



▲奥山市長が公務の為、藤本副市長に手渡す

議会の新任務

◎ 都市整備建設常任委員会 委員

- ・都市計画、まちづくり&住環境、公的施設の整備に関する事項
- ・道路、緑化、河川、下水道事業に関する事項
- ・交通事業（地下鉄&バス）に関する事項

◇ 地域経済活性化調査特別委員会 委員

- ・地域資源の活用やコンベンションの誘致による交流人口の拡大など、都市の魅力や活力を高めることにより、雇用拡大をはじめとする地域経済の活性化を図るための調査を行い、提言を行います。

○ 議会広報委員会 委員 …… 「市議会だより」の編集等を行います。

○ 政策担当者会議 委員 …… 議員提出議案等を検討します。

○ 仙台市名取市広域行政協議会 委員

その他の任務

■ 仙台市中央卸売市場運営協議会 委員

会派内の任務

■ 政調会長

